



今回の
運営委員会



運営委員長 長濱 豊さん 全矢崎労働組合 富士支部 執行委員長
副運営委員長 瀬戸 一嘉さん ユニバーサル製缶労働組合 富士小山支部 書記長
副運営委員長 中川 智史さん 静岡教職員組合 駿東支部 副支部長
運営委員 海野 裕紀さん ジェイビルジャパン 労働組合 書記長



御殿場支店 GOTENBA SHITEN

このコーナーでは、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

運営委員会とは...
会員(組合)の代表者と(ろうきん)の営業店職員で構成される組織。(ろうきん)の運営を民主的に行うため、理事会に向けて各員の率直な意見を発信するとともに、理事会で決定した方針や事業計画を各営業店の立場から、より具体化して地域会員・勤労者に展開しています。



運営委員 山本 剛さん 御殿場市労連 執行委員
運営委員 阿部 弘之さん 日立ハイテクサイエンス 労働組合 副執行委員長
運営委員 石川 敬斗さん ショーワ労働組合 執行委員
吉井 剛さん 御殿場支店 支店長



1人でも多くの(ろうきん)ファンを作るために!

少人数でも一枚岩と
なって盛り上げます

長濱／(ろうきん)御殿場支店運営委員会の会員数は10会員と小規模で、運営委員の入れ替わりも多いことから、運営委員会では各会員の主な活動の共有を毎回のテーマとし、新任の運営委員でも活動事例を活かせるよう工夫しています。最近では、(ろうきん)職員と組合員とのコミュニケーション機会を増やす等、(ろうきん)が身近な存在になるための取組みが話題の中心です。

長濱／私の組合では、(ろうきん)職員を身近に感じてもらったための顔の見える活動として、財形募集時の昼休みのティッシュ配りに役員も一緒に参加し、親しみをもって組合員に受け入れてもらう努力をしています。また、今年は新しい取り組みとして、組合主催の納涼祭へ(ろうきん)職員に参加してもらい、(ろうきん)のブースを設置。参加者にうちわを配布するなど組合員にとって(ろうきん)が身近な存在になるよう活動しました。運営委員会としても各会員の事情に合わせてオートショーや住宅ローン説明会等をもっと開催して欲しいと考えています。



(納涼祭で(ろうきん)ブースを設置)



(オートショーは大盛況!)



瀬戸／御殿場支店の(ろうきん)職員は人の心を掴むのがとても上手なので、我々も見習いながら組合員とコミュニケーションをとっています。今年は大きな税制メリットがあるiDecoの推進に力を入れており、若いうちから将来に向けた計画的な財産形成ができるよう、青年婦人部のセミナーや勉強会でテーマとして取り上げています。また組合員に勧める以上、執行部の自分自身が申込みし、自らの体験に基づいた情報を提供しています。

中川／今年は教職員組合分会訪問という形で(ろうきん)職員と全学校を回りまわりました。各学校の先生方と直接話しをする機会を作ることによって、(ろうきん)をより身近に感じてもらう、商品・サービスなどの情報を伝えることができたと思います。また組合員に対する、年2回の抽選会など、組合や(ろうきん)が身近になるイベントを実施しています。

海野／組合事務所へ気軽に立ち寄ってもらうために「ほっと一息 コミュニケーションタイム」

務所内にコーヒー等を無料提供しますが、徐々に立ち寄ってくれる組合員が増えてきています。事務所内の目立つところに(ろうきん)のチラシを設置し、休憩中のさりげない会話の中から、自動車の買い替えを検討している組合員に対しては(ろうきん)の職員を紹介するなど、組合員に(ろうきん)が自然に浸透するよう日々声掛けしています。

地道な取組みで(ろうきん)ファンを拡大

山本／まずは役員の自分からをモットーに、(ろうきん)の商品を自ら利用し、組合員との会話の中で、住宅や自動車の購入を検討している組合員に対してiDecoを勧めたいと思います。徐々にiDecoの輪が広がり、最近ではiDeco第2世代の組合員が(ろうきん)を勧める様子も見られるようになってきました。

阿部／社員全員がパソコンを所持しているため、(ろうきん)の商品やキャンペーンなどの案内には、全組合員へのメールを活用しています。前任者から継続して取組んできたおかげで、徐々に(ろうきん)ファンが増えています。今後の私のミッションとしては、(ろうきん)の財形ファンを更に増やしていくことだと考えています。



(ティッシュ配布)

利用の呼びかけを行いました。また、毎月行われる生産会議の資料内にPRの項目があるので、そのスペースも活用しながらiDecoの制度内容について組合員へ情報発信しています。

御殿場支店らしい取組みを

吉井／地域の会員代表者が一同に会する代表者会議で「寸劇」を披露しています。2016年春は「マイプラン」、2017年春は「iDeco」と、時流のテーマを決定し、流行りの芸人ネタに乗せて行う寸劇は、会議参加者に楽しんでほしい、商品や制度について理解してもらおうと、また、寸劇を自当に代表者会議に参加してくれる方もいるなど、思わぬ効果も生み出しています。

引き続き、各会員で運営委員と(ろうきん)職員が組合員にしっかり情報提供できる環境をより確かなものにしていきたいと思っております。1人でも多くの(ろうきん)ファンを作るため、これからも運営委員の皆さんと一枚岩となって、組合員の皆様に(ろうきん)を利用してもらおうよう活動を進めていきます。



(代表者会議では寸劇が見どころ)